

防犯と電話, ドアホン

空き巣はドアホンで留守を確認し、犯行に入ります。最近の電話機には VE-GP01DL (panasonic) のようにドアホンとドアホンアダプターを介して接続することで、不在時にもドアホンの呼出しを携帯電話で対応できる『ドアホンワープ』といった機能をもつものがあります。電話の更新に際してはこのような機能があるものも検討されるとよいと思います。

「防犯のためにドアホンをカメラ付にしたい」というご家庭もあると思います。ドアホンはマンションの共用部の設備で勝手に交換できません。大原則として「引越される時に現状復旧」がありますので、既存のドアホン設備(室内機とも)は必ず保管してください。ドアホンの交換については、まず管理組合にご相談ください。

インターネットで防犯カメラ

ADSL や B フレッツのインターネット常時接続で外出先からカメラで家の状況の確認が可能になります。USB カメラと『防犯 24 時』(ライブドア, www.pro-g.co.jp/bohan24/) というソフトウェアを組合せる方法と、ネットワークカメラ(1.5 万円位～)を使う方法があります。前者の使用には PC の起動が必要で OS や CPU の性能などの要件が多いのに対して、後者は設置時に PC を使用しますが後は単独で使え、前者よりシステムに対する要件は少ないです。

メーカーや機種で機能が異なりますが、例えばカメラの画像を出先の PC のブラウザソフトやウェブブラウザの機能のついた携帯電話で確認したり、カメラ画像が変化したら動き検出機能でその画像を電子メールと一緒に送るといったことができます。詳しくは松下電器 (panasonic.jp/p3/), プラネックスコミュニケーションズ (www.planex.co.jp), アイ・オー・データ

(www.iodata.jp), コレガ (www.corega.co.jp) などを参考にしてください。

B フレッツの利用について

5 月 23 日の「B フレッツに関する説明会」で色々な質問をいただき、回答させていただきました。この内容も含め参考情報を紹介します。なお、『美しい式番街』(Vol.40)で「千葉光モニター」を紹介しましたが、プロバイダで B フレッツコース加入で月額基本料無料キャンペーンを展開のものがあります。適用条件がありますが、B フレッツ申込みを NTT からか、プロバイダの取次にするか、比較してお選びください。

Q ISDN を利用しているが、B フレッツを導入した場合の月額料金はどうなるか？

A アナログ回線, ISDN(デジタル回線)ともに B フレッツの月額使用料は同じです。

【回線の見直しについて】

NTT の初期のインターネットの常時接続サービスとしてスタートしたフレッツ ISDN を現在もお使いのお宅があるかと思います。アナログ回線との使用料比較を次表に示します。フレッツ ISDN (通信速度 64kbps) の月額利用料は 2,940 円(税込)でこれにインターネットサービスプロバイダの料金がかかります。Vol.40 で紹介した比較的安価な ISP である ASAHI ネットのフレッツ ISDN コース M プランは月額利用料 472.5 円(税込)で、アナログ回線とデジタル回線の月額料金差、フレッツ ISDN の月額利用料、ISP 利用料の合計で 4,704 円/月となり、高速な同 ISP の B フレッツマンション M プラン(アナログ回線使用)4,252.5 円より高いものです。

B フレッツマンションタイプ(VDSL)は ISDN と共用できますが、電話番号を 2 つ使うとか、電

話番号認証にISDN回線が必要、という事情がない限り電話料金の面からはアナログ回線に戻す検討をお奨めします。(工事費 2,000 円)

区分	回線使用料
アナログ回線(タイプ1) 住宅用(2級取扱所)	1,680 円/月
INS ネット 64 住宅用	2,971.5 円/月

Q ISDNのダイヤルアップルータがあり、これをブロードバンドルータに利用できないか？

Q AtermIW50/Dという無線でPCと接続できるISDN回線用のTAがあるが、これを無線LANとして使えないか？

A ダイヤルアップルータはWAN(インターネット接続側)が外部にでていないため、使用できません。AtermIW50(無線が現在の規格と異なり実効速度58.4kbps)も同様です。

Q 宅内のVDSL装置を買取できるか？

A 現在、レンタルのみです。

Q Windows 98のOSが入ったパソコンでもBフレッツを利用できるか？

A Windows 98のOSで大丈夫ですが、パソコンのCPU性能は考慮する必要があります。ウイルス対策ソフト、例えば『ウィルスバスター』の対応OSはWindows 98以降、CPUはPentium 233MHz以上とされます(OSでCPUの要件は異なる)。CPU性能に余裕がないとパソコンの反応が遅くなります。要件の1.5倍以上のクロック速度がほしいと思います。

Q モジュージャックとVDSL装置の間を20m位のモジュラーケーブルで結びたいが。

A VDSLはADSLと同様、xDSLというデータ通信技術に含まれ、通信速度は線路長に影響されます。速度面ではモジュラーケーブルは短い方が望ましいです。フラットタイプ(約1mm厚)のLANケーブルの利用が考えられます。

Q 無線LANを使用したいが・・・

A 既にブロードバンドルータを使われていればそれに無線LANアクセスポイントを組合せ、パソコン側は無線LANアダプタ(PCIバス用、USB用、CardBus用と様々なインターフェースがあり)を取り付けます。

ブロードバンドルータを新規導入で「無線LANも」ということであれば有線/無線両用のブロードバンドルータ(価格の安いものはスループットが低い傾向)も検討対象になります。古いブロードバンドルータにはスループットの低いものもあり、手持機器を考慮して決定がよいと思います。UPnP対応、IP Unnumbered対応をうたっているものがよいと思います(VDSL 100MbpsやIP電話と製品の相性は各自ご確認ください)。なお、無線LANは送受信点間に障害物があると通信速度が低下します。LDと北側の洋室間での通信でも確認されました。

Q 家の複数のパソコン全部でインターネットを使用したいがどうしたらよいか？

A ブロードバンドルータ、各PCへ接続するLANケーブル(無線LANの場合は不要)、そしてPCはLANインターフェースを装備していることが必要となります。ケーブルを使った有線にするか、無線LANを使うかでバリエーションがあります。詳細はメーカーのサイトやカタログでご確認ください。(Vol.40も参考に)

Q 現在、DIONのADSLレギュラーコースでIP電話アダプタを使用しているが、Bフレッツにした場合、これはどうなるのか？

A DIONのIP電話アダプタ(399円/月)を使用し、NTTのIP電話対応機器は使わないとのことです。(各プロバイダにご確認ください)

【注意】 プロバイダ、機器等の情報を紹介していますが、不十分な面もあります。あくまでも参考情報としてご自分で調べられ、判断、ご決定をお願いします。